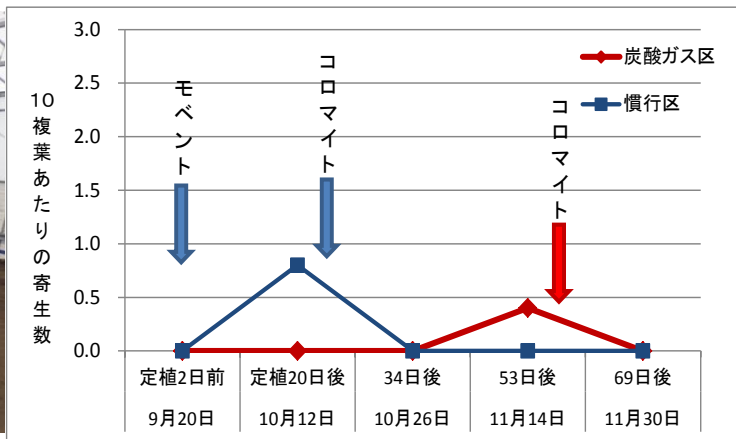


高濃度炭酸ガス処理と天敵アカメによるイチゴの害虫防除

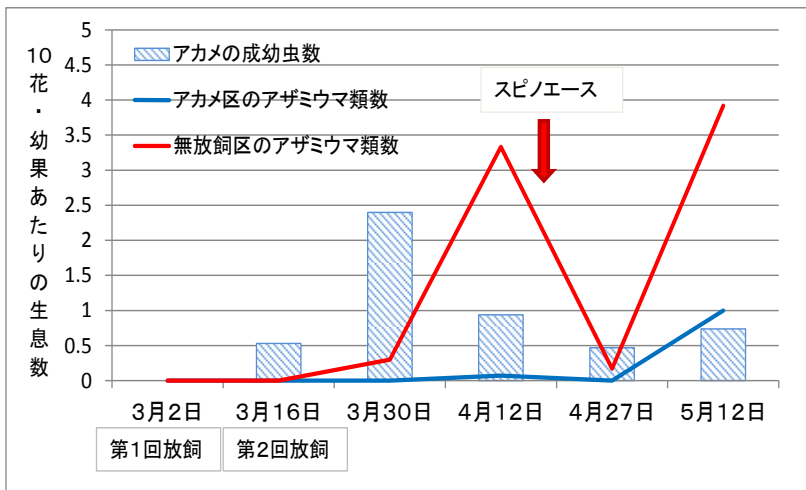
イチゴ栽培では、害虫のナミハダニやアザミウマ類の被害が問題となっています。そこで、苗に寄生しているナミハダニを高濃度炭酸ガスで死滅させてから定植する技術と、天敵製剤「アカメガシワクダアザミウマ」(以下「アカメ」)のアザミウマ類に対する防除効果について、現地で実証試験を行いました。苗の高濃度炭酸ガス処理により、定植後2カ月程度ナミハダニの発生が見られず、また、天敵アカメと防虫ネットを組み合わせることでアザミウマ類被害果の発生が無くなることがわかりました。いずれの技術も農薬散布回数を減らすことができ、防除の省力化となります。



イチゴ苗をコンテナに入れ、装置内で24時間処理



ナミハダニ雌成虫の発生状況と農薬散布



アカメによるアザミウマ類の防除効果
(アカメ区はハウス側窓に0.6mm防虫ネット、無放飼区は防虫ネットなし)



アカメ成虫(左)と幼虫(右)

イチゴの被害果率

試験区	被害果率 (60個調査)
アカメ区	0%
無放飼区	18%

※5月12日調査時。それ以前は被害果なし